

I 平成27年度事業報告

第1 事業の概要

平成27年度は、多文化共生マスタープランの最終年次として、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、これまで以上に外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援、情報収集・提供及び調査などの事業を実施した。

多文化理解推進事業では、交流サロン、姉妹都市との青少年交流、語学講座、各種イベントへの参加等を通じて多文化共生社会の推進を図る事業を実施した。

外国人市民支援事業では、マンツーマン形式による日本語学習支援、日本語が全く話せない外国人向けにグループ形式の学習支援及び文化庁委託事業の『生活者としての外国人』のための日本語教育事業により各種日本語クラス等のほか、公益財団法人アジア福祉教育財団委託事業として、千葉市内に定住を始めた第三国定住難民（ミャンマー難民）への日本語支援を実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援として、「外国人のための防災教室」や、千葉市と「千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定」の締結に基づく事業等を実施した。

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、文化庁からの受託事業として日本語学習支援ボランティア向けの研修や「やさしい日本語ガイダンス」を実施したほか、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体を支援した。

情報収集・提供及び調査では、フェイスブック等を活用し、大雨や台風時の気象情報をやさしい日本語を中心として提供するなど、情報量や提供頻度の充実を図った。

千葉市からの受託事業として、「国際交流プラザ運営業務」と「通訳ボランティアスキルアップ講座」を実施したほか、前述した文化庁からの『生活者としての外国人』のための日本語教育事業及び、公益財団法人アジア福祉教育財団からの「定住後の第三国定住難民第5陣に対する日本語教室の提供」を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、情報交換などを通じて交流し、国際化への理解を深めることのできる場を多く設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内容・会場	参加者 () 内外国人
親子三代夏祭り	8月16日	親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 千葉銀座通り周辺	65人 (25人)
日本語スピーチ大会	10月17日	協会や地域の日本語教室で日本語を学習している外国人16人(アメリカ、イギリス、ジンバブエ、スリランカ、中国、ネパール、バングラディッシュ、ベトナム、タジキスタン、ミャンマー出身)がスピーチをした。交流会ではコロンビア人によるラテンダンスやキューバのサルサを踊るほか、発表者と市民とが交流を深めた。また、受付では、多言語防災ガイドブックを配布し、外国人に向けた防災啓発にも努めた。 国際交流プラザ	148人 (73人)
外国人と日本人の交流会	8月13日	ノースバンクーバー市、モントルー市からの来業者との交流、三味線・おどりの披露、体験など 国際交流プラザ	102人 (23人)

	1月30日	「外国人と日本人の交流会 in 高浜」 中国人の集住地区で、千葉市役所や自治会と協働し、中国人・日本人住民のコミュニケーションを図ることを目的として交流会を実施した。 高浜公民館	35人 (14人)
文化紹介	6月23日	世界を知ろう 調べよう(総合的な学習) いろいろな国の文化等の紹介を受けることを通じて、それぞれの国の良さを知るきっかけを作った。 参加者出身地：3(中国、ベトナム、ミャンマー) 市立平山小学校	51人 (3人)
	7月2日 ～9日	七夕の文化紹介及び飾り付け 日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	62人 (短冊数)
	10月5日	国際理解教育授業「みんなで遊ぼう」 外国人の方々との交流を通して、外国に興味を持ち、多様な文化を理解しようとする心情を養った。 参加者出身地：3(スリランカ、タイ、ベトナム) 市立幸町第三小学校	133人 (3人)
	10月19日	英語で異文化交流体験ー千葉県の魅力を伝えようー 4年生の児童が、外国の方に千葉県の魅力を伝えながら、異文化交流を楽しんだ。 参加者出身地：3(インドネシア、チリ、モロッコ) 市立さつきが丘東小学校	50人 (3人)
	10月26日	英語で交流会 「総合的な学習の時間における英語を運用した国際理解の授業で児童と交流を図った。 参加者出身地：6(アメリカ、インド、スリランカ、タイ、中国、フィリピン) 市立都賀小学校	96人 (6人)
	11月4日	開こう世界の扉 外国人との交流を通じて外国の文化を知り視野を広げた。 参加者出身地：3(スリランカ、中国、ベトナム) 市立有吉小学校	100人 (3人)
	11月27日	クリスマスツリーの飾りつけ 国際交流プラザに飾りつけ及びクリスマスソングの合唱を行った。 参加者出身地：8(インドネシア、タイ、中国、チリ、タジキスタン、フィリピン、ブラジル、ベトナム) 国際交流プラザ	15人 (11人)
	12月3日	総合的な学習「国際理解教育」 外国人との交流を通じて外国の文化を知り多文化理解を進めた。 参加者出身地：3(アメリカ、中国、フィリピン) 市立作新小学校	84人 (3人)

イ 青少年交流（市補助）

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れでは、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるプログラムを組み市民の多文化理解の推進を図った。派遣では、派遣生へ渡航費の一部を助成した。

交流姉妹都市名	期間・内容等	参加者
カナダ・ノースバンクーバー市 (46回目)	【派遣】 8月3日～18日 市長表敬訪問、市内見学、自然体験、日本文化の紹介等 〈派遣者研究テーマ〉 (派遣生)「カナダの自然とそれに対する取り組み」、「放課後の過ごし方」、「自然災害～もしものときに～」、「日本とカナダの違い」 (引率者)「ノースバンクーバー市における高等学校教育について」 〈派遣生助成金：1名につき4万円〉	高校生4人 引率者1人
	【受入】 8月4日～18日 市長表敬訪問、市内施設(科学館、千葉都市モノレール基地ほか)見学、「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加等	高校生4人 引率者1人
アメリカ・ヒューストン市 (33回目)	【派遣】 8月16日～30日 市長表敬訪問、現地中学校における授業体験・日米の違いについて発表・よさこい披露等、NASA見学、テキサス・ヒューストン歴史講義、Heritage Discovery 見学他 〈派遣者研究テーマ〉 (派遣生)「ヒューストンの災害対策について」、「アメリカの食文化 日本と比較すると」、「日本とアメリカの航空需要の違いについて」、「日米の中学生の政治関心」 (引率者)「学習環境づくりから見る教育事情について」 〈派遣生助成金：1名につき7万円〉	中学生4人 引率者1人
スイス・モントルー市 (18回目)	【受入】 8月6日～20日 市長表敬訪問、市内施設(科学館、千葉都市モノレール基地ほか)見学、「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加等	青少年5人 引率者1人

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動の支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員及び次代を担う青少年を対象に語学サロンを実施した。

講座名	期間	時間等	講師	受講者
英語サロン(前期)	6月16日～30日	2時間×3日	協会職員 ジーナ リベラ	26人
英語サロン(後期：中級)	9月29日～12月8日	2時間×10日		25人
英語サロン(高校生限定) 外国人学生の参加による交流も有	7月24日～29日	1.5時間×3日		6人
英語サロン(中学生限定) ヒューストン派遣生参加による英語でのプレゼンテーション有	12月21日～24日	1.5時間×3日		10人
英語サロン(初級)	1月20日～3月23日	2時間×10日		19人
中国語サロン(初級)	6月11日～7月16日	2時間×6日	協会職員 青島 瞳	14人
中国語サロン(中上級・前期)	6月11日～7月16日	2時間×6日	協会職員 葉 青	16人
中国語サロン(中上級・後期)	10月5日～11月16日	2時間×6日		14人
ラテン文化交流会	11月27日～12月11日	2時間×3日	協会職員 タニア ムニョス	6人
韓国文化交流会	2月18日～3月3日	2時間×3日	協会職員 李 銀淑	5人

エ 多文化共生推進

(7) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解を促進することにより多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとして参加することなどにより多文化共生社会実現に向けた情報交換や取組みを実施した。

名称	開催日	場所	内容
美浜保健福祉センター支援事業	毎月1回	美浜保健福祉センター	中国人が集住する美浜区の保健福祉センターにおける様々な通訳、翻訳業務(子どもの健康診断に関する通訳、保健師の家庭訪問に関する書類や予防接種に関する資料の翻訳など)を行った。
双葉外語学校入学式	4月6日	京葉銀行文化プラザ	市内の日本語学校等への入学式・卒業式に参加することにより、外国人留学生の動向や在住外国人に関する情報収集や協会の活動等についてのPR等行い連携を深めた。
中央国際文化学院卒業式	3月11日	千葉市文化センター	
多文化フリースクールちば卒業式	3月19日	中村学園ビル	
生涯学習指導者基礎研修	5月16日	生涯学習センター	「ボランティアはじめたい!千葉市のボランティア関連施設活用術—ちばぼら4施設合同説明会」に参加し、協会の活動等についてPRを行った。
地域国際化協会連絡協議会総会	5月20日	砂防会館	会議に出席し、各地域の国際化協会との情報交換を行った。
国際フェスタ CHIBA	5月24日	神田外語大学	(公財)「ちば国際コンベンションビューロー」主催のイベントに出展し、PRを行った。
千葉ロータリークラブ卓話	6月8日	三井ガーデンホテル千葉	ボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い、協会の活動等についてPRを行った。
ANA ヒューストン線就航初便式典	6月12日	成田空港第1ターミナル	青少年交流事業(ヒューストン市)派遣の学生2名(平成23年度派遣)が参加し、パフォーマンス(カントリーダンス)を披露した。
稲毛区役所出張窓口 in 敬愛大学	6月18日	敬愛大学稲毛キャンパス	留学生に対し、転入・転出手続き、外国人登録、国民健康保険、国民年金(学生納付特例制度)などの各種情報提供の補助や協会の活動等のPRを行った。
外国人市民懇談会	6月20日	国際交流プラザ	千葉市国際交流課及び千葉市消防局と協働し、「多くの外国人に救命講習会に参加してもらうためには」をテーマに、意見交換を行った。
	12月5日		千葉市国際交流課と協働し、「多文化共生社会推進のための日本語学習支援のあり方とは」をテーマに、意見交換を行った。
外国人相談担当者の意見交換会	6月26日	千葉県国際交流センター	県内の自治体及び国際交流協会等の外国人相談担当者間で意見交換等を行った。
市営住宅入居説明会	6月30日 9月30日 12月25日 3月10日	千葉市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での通訳及び生活のルールについてのアドバイスを行った。 ※6/30は2回実施のため全5回
多文化共生社会づくり連絡協議会	7月2日	千葉県庁	県内における参加団体の各取組みについて、情報交換を行った。
国際交流協力等ネットワーク会議	7月10日	千葉県教育会館	県内の国際交流協力団体の取組みについて情報交換を行った。

千葉市海外インバウンド ツーリズム推進協議会	7月17日 11月19日 1月19日	千葉中央 コミュニティセンター	千葉市におけるインバウンドツーリズムの総合的効果的な推進を図るために、協議会メンバーとして会議に参加し、通訳ボランティア等の活用につなげた。
大学生のアンケート調査への協力	7月22日 ～28日	国際交流プラザ	千葉県立保健医療大学学生による「外国人の健康と食生活の実態と支援の検討に関する研究」に関するアンケート調査に協力した。
高浜地区保育所 職員研修	7月24日 11月17日 2月19日	高浜第一保育所	中国人集住地域での市保育所職員への研修(中国における習慣や文化、保育所で役立つ中国語等の紹介)
千葉県通訳ボランティア 養成検討会議	8月19日 3月28日	千葉県教育会館 ホテルプラザ菜の花	千葉県が2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に設置した会議に委員として参加した。
ちば「まち歩きガイド」	8月6日	千葉市中心市街地	千葉商工会議所によるICSEES(第9回国際中欧・東欧研究学会)の参加者を対象とした事業に協力した。
高浜地区における外国人 住民をめぐる諸問題 に係る協議会	8月26日 11月16日	高浜県営第二団地 自治会集会所	高浜地区における外国人住民をめぐる諸問題について関連する団体と協議を行った。
2020年東京オリンピック・ パラリンピックに 向けての研究会	9月4日 3月10日	千葉商工会議所	大会の成功に向けて支援するとともに、国内外に千葉市の知名度を高める等を目的として設置された研究会に参加した。
第32回千葉県ユネスコ 大会 in 千葉	9月27日	生涯学習センター	協会における青少年交流事業、ボランティア制度、多文化理解セミナーについて発表した。
日本語を母語としない 親と子どもたちのための 進路ガイダンス	9月27日	生涯学習センター	「日本語を母語としない親と子の進路ガイダンス実行委員会」主催のイベントに協会職員が通訳として協力した。
中央区ふるさとまつり	10月18日	中央公園	生活相談やボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い、当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
大学生による「多文化 共生のまちづくりワー クショップ」	11月7日	国際交流プラザ	千葉市国際交流課と協働し、千葉市在住・在学の外国人留学生及び日本人大学生に、多文化共生のまちづくりについての意見を徴した。
千葉市民活動フェスタ 2015	11月14日 ～15日	きぼーる	ボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
生涯学習ボランティア フェア 2015	11月17日 ～23日	生涯学習センター	ボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
千葉市保健師会研修会	12月2日	国際交流プラザ	千葉市に在住する外国人について、保健師会からの依頼により研修を実施した。
関東地域国際化協会 連絡協議会	12月3日	前橋市民文化会館	関東地域の国際交流協会が会し、情報及び意見交換を行った。
年末年始特別警戒出動 式及び啓発活動	12月10日	千葉西警察署 JR 稲毛海岸駅	千葉西警察署が実施する「年末年始特別警戒出動式」への参加し、防犯(自動車・自転車の盗難防止、ATMの不正使用等)啓発チラシやグッズの配布に外国人住民と共に協力した。
千葉西警察署移動交番 防犯パトロール出動式	12月16日	千葉西警察署	千葉西警察署所管の移動交番が実施する年末年始防犯パトロール出動式へ参加した。
ノモちゃん号出発式	1月15日	千葉モノレール	株千葉都市モノレールの逆さまラッピングモノレール「ノモちゃん号」の出発式典に外国人市民と共に参加し、試乗した。

千葉県国際交流協会 連絡協議会	1月30日	四街道市 文化センター	県内の国際交流協会が会し、情報及び意見交換を行った。
ヒアリング調査への協力	2月16日	国際交流プラザ	千葉県が実施する「千葉県2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組検討調査」事業のヒアリング調査に協力をした。
九都県市外国人相談 企画研究会	3月18日	神奈川県地球市民 かながわプラザ	九都県市の担当者が会し、情報及び意見交換を行った。

(イ) 職場体験等の受入

生徒、学生に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図った。

対象		実施日	内容
中学生	市立稲毛高等学校附属中学校2年生1人	6月16・17日	国際交流プラザでの事業、語学講座等の補助ほか、外国人へのインタビューのレポート作成
	市立幕張中学校2年生3人	6月23・24日	
	日出学園中学校2年生1人	7月16日	
	市立稲毛中学校2年生2人	11月4・5日	
	市立生浜中学校2年生2人	11月26・27日	
大学生	千葉大学2年生1人(韓国出身) 共立女子大学3年生1人 (千葉市におけるインターンシップの一環として実施)	8月 10・13・16日	交流サロン(外国人と日本人の交流会・親子三代夏祭り)業務及び相談窓口補助

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

依頼元	翻訳言語	翻訳内容
千葉市 及び公的機関等	英語 中国語 韓国語 スペイン語 フィリピン語	美浜区子育て相談日程表/外国籍児童の保護者あて手紙/ 市生活ガイドブック/千葉市防災マップ名称等/ 千葉市消防指令センターパンフレット/病院内待合室注意事項/ 路上駐車場の利用案内/就学支援制度/生活保護辞退届/ 稲毛区社会援護課からの出生・婚姻証明書/ 生活保護受給者への冬季加算見直し案内/ 家庭ごみの出し方に関する指導文書/ごみ分別啓発ちらし、他

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

(ア) 国際交流プラザにおいて、ボランティアとのマンツーマン形式等により外国人市民へ日本語学習を実施した。(開始件数:368件)

(イ) ゼロレベル日本語レッスン

日本語を全く話せない(ゼロレベルの日本語)外国人に対し、グループによる学習を開始し、マンツーマン形式へとつなげた。

開催期間	受講者数	講師等	回数等
5月11日～6月11日	11人	伊藤三枝子氏・内野照子氏・村重明子氏及び 協会職員 鈴木恵美子	2時間×10回
7月2日～8月6日	11人		
9月7日～10月15日	7人		
11月4日～12月10日	8人		
1月18日～3月7日	11人		

(ウ) 日本語クラス(文化庁委託事業にて実施)

日本人との対話と協働を特徴とする日本語クラスを実施し、日本語力の向上と日本語学習意欲だけでなく地域社会と関わる意欲の向上を図った。

名 称	開催期間	参加者数	講師等	回数等
テーマでつながる日本語クラス① 「葬儀」	6月20日～7月4日	23人	萬浪絵理氏	3時間 ×3回
テーマでつながる日本語クラス② 「防犯」	9月25日～10月9日	11人	萬浪絵理氏 千葉中央警察署警備課 杉山氏	
テーマでつながる日本語クラス③ 「学校の役割、親の役割」	1月18日～2月1日	12人	萬浪絵理氏 村上健治氏	
対話中心グループクラス①	7月2日～7月30日	13人	萬浪絵理氏	2時間 ×5回
対話中心グループクラス② (若葉区にて開催)	11月11日～12月9日	12人		
初級文法クラス	4月28日～6月2日 10月7日～11月4日	14人 9人	萬浪絵理氏	2時間 ×5回

(エ) 多文化理解促進(文化庁委託事業にて実施)

日本語教育の一環として、地域における多文化理解の促進と在住外国人の社会参画を促進するために実施した。

a 多文化理解セミナー

テーマに合わせた講話やワークショップにより、参加者(日本人・外国人市民)同士の交流を図った。

テーマ	会場	開催日	参加者数	講師
「外国人住民や留学生とまちの未来を語ろう」～グローバル化と多様性～	国際交流プラザ	10月31日	37人	長崎外国語大学特任講師 神吉宇一氏
「え？わたしだけの思い込み?!」～世界地図で見る価値観の違い～	宮崎公民館	11月16日	30人	東京女子大学教授 松尾 慎氏他1名
「宗教と食」～豚を食べる人、食べない人～	千葉県国際交流センター	12月11日	25人	早稲田大学非常勤講師 砂井紫里氏

b 防犯パトロールキャンペーン

地域の自治会等が主催する防犯パトロールに、日本語を学ぶ外国人が事業支援者であるボランティアとともに一住民として参加し、交流した。

場所	実施日	参加者数()内支援者
美浜区磯辺中学校地区育成員会	10月17日	3(2)人
中央区今井連合町会	10月20日	3(1)人
花見川区幕張町北4丁目自治会(千葉西警察署協力)	10月21日	3(1)人
稲毛区稲毛町防犯パトロール隊(千葉西警察署協力)	10月26日	3(2)人
中央区松波町会(千葉中央警察署協力)	10月27日	3(1)人

c 多文化協働ネットワーク会議(平成27年11月30日開催、23人参加)

外国人市民が地域との関わりの中で社会参加を目指すため、千葉市の重要施策である安全安心をテーマとして、日本語を学習する外国人市民も参加し、警察署、消防署、保育所、市や区の複数の部署など、地域の多文化化と関わりのある関係機関が集まり、各現場での取組や課題について情報を共有した。

(オ) 第三国定住難民(ミャンマー難民)への日本語支援(アジア福祉教育財団委託事業にて実施)

美浜区高洲地区に定住を始めた難民5家族23人に対し、稲浜公民館において、稲浜日本語ボランティアの協力を得て、大人2クラス、子ども2クラス形式で日本語指導を実施した。学習時の保育は千葉市ファミリーサポート会員からボランティアとして協力を得た。

実施期間	実施回数	参加対象者	指導者	保育対象者	保育従事者
6月7日～3月20日	24回	16人(大人11人・子ども5人)	9人	7人	6人

イ 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用しての電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

言語	方法	件数	人数
英語、中国語、韓国語、スペイン語等	協会窓口、電話、Eメール等	1,516件 (窓口:844件・三者通話:62件)	1,255人 (窓口:673人・三者通話:62人)

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。通訳が必要な場合、協会職員、ボランティアが対応した。

内容	回数	件数	会場
日常生活に関する法律相談	8回 (うち2回は夜間)	14件 (要通訳:4件)	国際交流プラザ相談室

エ 外国人留学生交流員(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に助成金(60,000円/1人)を交付し、外国人市民懇談会への出席や交流サロンへの出席により留学生交流事業を実施した。

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	中国	千葉大学	インドネシア
敬愛大学	ベトナム	東京情報大学	ベトナム

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災教室等

名称	開催日	場所	参加者等()内外国人
第36回九都県市合同防災訓練 千葉市メイン会場	8月30日	千葉工業大学 千種グラウンド	22人(14人)
千葉中央ツインビル避難訓練	9月17日 3月16日	千葉中央ツインビル 1・2号館及び中央公園	40人(23人) 16人(9人)

(イ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結(平成26年6月30日)に基づく事業

日本語による意思疎通に支障のある外国人が、申請書を提出することで千葉市避難行動要支援者名簿に掲載されるにあたり、申請書の作成補助及び一時保管をする。(実績0件)

(ウ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結(平成26年8月28日)に基づく事業

協定に基づき、4月20日・7月3日(大雨)及び5月12日・9月8日・9月10日(台風)、5月25日・5月30日(地震)、9月18日(チリ地震津波)には、災害情報を多言語に翻訳し、協会ブログ、Facebookで情報発信をした。

(エ) 関東地域国際化協会連絡協議会 災害時における外国人支援ネットワークに関する協定

締結(平成 21 年 3 月 21 日)に基づく事業

協定に基づき、台風 18 号の影響による茨城県大雨被害に対する茨城県国際交流協会への支援として 9 月 15 日から 25 日まで英語及びタガログ語の翻訳を実施した。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

(ア) ボランティアの登録・斡旋件数

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、通訳や日本語学習支援、ホームビジット等のボランティアの登録・コーディネートを行った。外国人児童生徒支援については、千葉大学国際教育センター新倉涼子教授によるモデル事業への協力として実施した。

(平成 28 年 3 月末件数)

内容	登録	斡旋	内容	登録	斡旋
通訳	521	112	文化紹介	189	21
災害時語学	211	2	日本語学習支援	658	368
翻訳	385	64	学校派遣	63	0
ホームステイ	110	3	国際交流支援	516	54
ホームビジット	208	23	計	2,861	647

(イ) 第 1 回おもてなし力向上ネットワーク会議開催(平成 28 年 3 月 16 日開催、24 人参加)

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉市プロジェクト推進基本方針及び千葉市行動計画の方向性の一つである「市内への集客、宿泊の最大化」を実現するため、多くの外国人が訪れる幕張新都心において、観光客などへの通訳を中心とした多言語対応の充実を図ることを目的に「おもてなし力」向上ネットワーク会議を設立し、第 1 回会議を開催した。

イ ボランティア研修

(イ) 日本語学習支援ボランティア講座(文化庁委託事業にて実施)

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。養成及び実践講座においては、日本語学習をしている外国人が参加して、より実践に近い形式を用いた。また、活動における疑問点等の解決につなげるため、活動相談会を実施した。

講座名等	開催日	参加者数	回数等	講師
入門講座	5 月 15 日～29 日 7 月 15 日～29 日 12 月 1 日～15 日 2 月 20 日～3 月 5 日	20 人 14 人 17 人 15 人	2 時間×3 回	萬浪絵理氏 協会職員 鈴木恵美子
養成講座	9 月 3 日～11 月 5 日	31 人	3 時間×10 回	萬浪絵理氏、加藤早苗氏、 田栗春菜氏、西山陽子氏
実践講座	6 月 10 日～24 日 11 月 20 日～12 月 4 日	9 人 10 人	3 時間×3 回	萬浪絵理氏
ボランティア活動相談会	5 月 28 日、9 月 30 日、 10 月 29 日、12 月 15 日、 3 月 5 日	24 人	1 時間×5 回	萬浪絵理氏

(イ) やさしい日本語ガイダンス

日本語学習支援ボランティア等に対して「やさしい日本語」の有効性についてのガイダンスを開催した。

内容	開催日	参加数 () 内外国人	講師
やさしい日本語についての講義と ワークショップ	12 月 18 日	30人(9人)	協会職員 廣田 将克

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。（10 団体、総額 626,501 円）

	団体名	助成対象事業名	交付額
1	穴川にほんごボランティアサークル	「外国人のための日本語指導及び異文化交流」	11,800 円
2	稲浜日本語ボランティア	「外国人のための日本語支援及び異文化交流」	139,200 円
3	生涯学習友の会けやき倶楽部 国際理解グループ	「外国人留学生に対する学習支援 最先端産業技術現場・見学案内」	28,696 円
4	センシティ土曜にほんご学級 中央土曜にほんご学級	「日本語を母語としない子ども達への支援活動」	119,500 円
5	千葉市 J S L 児童・生徒支援の会	「外国人市民支援事業」	153,200 円
6	人形劇団 K A I	「日芬友好 人形劇フィンランド公演」	11,300 円
7	ハングル同好会	「ハングル書道・韓国伝統文化展」	28,100 円
8	みどり土曜にほんご学級	「みどり土曜にほんご学級」	68,400 円
9	美浜こどもにほんご教室	「美浜こどもにほんご教室 開催」	55,600 円
10	千葉中央ライオンズクラブ	「青少年育成交流事業」	10,705 円

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の事務局として支援を行った。

内容	開催日	場所	参加団体	来場者
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2 月 14 日	きぼーる	24 団体	約 1,300 人

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室に調査票を送付し、3 月末時点で 20 か所（中央区：2、花見川区：3、稲毛区：4、緑区：2、美浜区：9、若葉区：0）の情報を確認した。各団体へ当協会実施の講座等の周知により更に活動を促進するための支援をしつつ、各団体間のネットワーク化を図った。また、希望団体については、当協会のホームページ上に情報を掲載して紹介する等、利用者の利便を図った。更に、国際交流・協力活動を実施している 24 団体についても情報収集のため活動調査票配布を行い、希望団体についてはホームページ等に掲載した。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。ホームページと合わせて、フェイスブック、ブログを活用し、情報量や提供頻度の充実を図り、特に、台風時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として提供した。

平成 27 年度中にホームページリニューアル(12 月 1 日)及びブログ閉鎖(3 月 23 日)を行った。

内容	時期
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内容	発行	部数	配布先等
「ふれあい」発行 84～86号	8月、12月、3月 (年3回)	各3,000部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区市民課窓口、日本語教室等を通して提供した。

内容	部数	発行	配布先等
英語	100部/月	月1回	各区窓口、日本語教室、 市内大学、ホームページへの掲載等
中国語	150部/月		
やさしい日本語	100部/月		

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌や国際交流・国際協力に関する図書等を配置するとともに、協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。また、インターネットに接続したパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内容	時期	場所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		
情報収集用パソコン		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 国際交流プラザ運營業務

国際交流・協力や多文化共生等の情報の提供、会議室利用などの運營業務を実施した。

施設利用状況（開館日数 294日）

(28年3月末現在)

	会議室	国際交流ラウンジ					合計
		日本語学習支援	外国人相談	インターネットコーナー	多目的スペース	小計	
件数	821	5,767	1,516	25	2,347	9,655	10,476
人数	10,492	12,661	1,255	25	2,347	16,288	26,780

イ 通訳ボランティアスキルアップ講座（ボランティア研修）

千葉市の「国際交流ボランティアリーダーの育成」事業の一環で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人来業者の受入体制強化のため、通訳ボランティア数の増加とより高度な通訳を行える国際交流ボランティア育成を目指す「通訳ボランティアスキルアップ講座」を開催した。

受講者の内、約86%以上の参加メンバーから成る自主学習グループを言語ごとに結成し、学習を継続している。また、受講者の内3月末までに、延べ51人が下記(イ)一覧記載のとおり活動した。

(イ) 講座

言語名	開催日	回数等	参加者数
英語（一期）	6月24日～7月22日	2時間×5回	23人
英語（二期）	11月21日～1月16日	2時間×6回	23人
中国語	6月27日～7月25日	2時間×5回	21人
スペイン語	6月27日～7月25日	2時間×5回	20人

(イ) 通訳ボランティアスキルアップ受講者によるボランティア活動実績
(ボランティアコーディネートにおける斡旋件数に重複記載)

期日	内容	言語	人数
8月6日	千葉商工会議所主催「まち歩きガイド」時の外国人研究者への千葉市中心市街地の紹介随行通訳	英語	2人
8月13日	ノースバンクーバー市及びモントルー市来葉者への三味線・日本舞踊等の説明通訳及び市民との交流時通訳	英語	5人
8月17日	ノースバンクーバー市来葉引率者の千葉市消防局指令センター見学時通訳	英語	1人
9月9日	天津市からの行政訪問団への医療制度説明及び消防局視察時通訳	中国語	3人
9月～10月	千葉市集客観光課依頼「千葉あそび秋号」掲載ツアー随行通訳(さつま芋堀・歴史探訪・落花生収穫等)	英語	2人
10月10日～17日	千葉市スポーツ振興課依頼の「2015 IWB(車いすバスケットボール)」試合会場・受付等通訳	英語	13人
10月21日	多文化協働プロジェクト 防犯パトロール時の参加外国人随行通訳	英語	1人
11月7日	千葉市国際交流課主催「多文化共生のまちづくり」青少年ワークショップにて参加留学生への通訳	英語	3人
12月9日	フィリピン・ケソン市視察訪問団のウェザーニューズ社及び中央雨水ポンプ場視察時通訳及び千葉市の防災取り組み・千葉市浄化システム等の説明通訳	英語	8人
1月20日	千葉大学帰国留学生に学ぶ世界の研究と教育に係る発表及び質疑応答の通訳	英語	4人
1月28日	中国重慶からの学生受入(真砂中学校)に係る文化紹介及び交流時通訳	中国語	2人
1月30日	高浜公民館での「外国人と日本人の交流会」に係る交流時の通訳	中国語	1人
2月23日	千葉市集客観光課依頼のインドネシア・マレーシア ファムトリッププレゼンション時の通訳	英語	5人
3月13日	千葉市集客観光課依頼「千葉あそび春号」日舞・歌舞伎衣装体験時の説明及び交流時通訳	中国語	1人

(2) 文化庁から委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実施
ア 運営委員会(国際交流プラザにて開催)

開催日	議題及び検討内容	出席者
5月22日	1. 事業概要(事業計画・事業内容・事業運営方針)の説明 2. 質疑応答・意見交換	長崎外国語大学 神吉宇一氏 千葉大学 新倉涼子氏 千葉市中央区地域振興課
10月23日	1. 実施済み内容報告および今後の実施計画説明 2. 質疑応答・意見交換	榎木かおり氏 千葉市国際交流協会
2月12日	1. 事業実施報告 2. 事業評価 3. 質疑応答・意見交換	日本語コーディネーター 萬浪絵理氏 事務局長 鈴木浩 主任主事 鈴木恵美子

イ 日本語教育(外国人市民支援事業「日本語学習支援」にて実施)
テーマでつながる日本語クラス、グループ会話クラス、初級文法クラスを実施した。

ウ 支援者研修(市民活動支援事業「ボランティア研修」にて実施)
入門講座、養成講座、実践講座、活動相談会を開催した。

エ 多文化理解促進(外国人市民支援事業「日本語学習支援」他にて実施)
多文化理解セミナーの開催、防犯パトロールキャンペーンを実施したほか、2月14日に、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の会場において、事業の成果発表を来場者に対し、実施内容のパネル展示や冊子「ちば多文化協働プロジェクト」を用いて説明した。

オ 多文化協働ネットワーク会議（外国人市民支援事業「日本語学習支援」にて実施）

11月30日に日本語を学習する外国人市民も参加し、地域の多文化化と関わりのある関係機関から23人が集まり、各現場での取組や課題について情報を共有した。

(3) 公益財団法人アジア福祉教育財団から委託を受けた「定住後の第三国定住難民第5陣に対する日本語教室の提供」の実施

平成27年6月1日から28年3月31日において、外国人市民支援事業の「日本語学習支援」にて実施した。

第3 賛助会員(平成28年3月31日現在)

会員の高齢化等により前年度に比べ個人会員が減少した。法人・団体会員については、ホームページでのリンク掲載特典、賛助依頼に努めたことで前年度よりわずかに増加した。

区分	合計	内訳1(日本人・外国人)		内訳2(一般・学生)		内訳3(金額)			
		日本人	外国人	一般	学生	金額	人数		
個人	449人	日本人	423人	一般	421人	2,000円以上/年会費	421人		
				学生	2人	1,000円/半年会費	0人		
		外国人	26人	一般	25人	2,000円以上/年会費	2人	1,000円/半年会費	11人
						1,000円/半年会費	14人	2,000円以上/年会費	0人
				学生	1人	1,000円/半年会費	0人	2,000円以上/年会費	1人
						2,000円以上/年会費	1人		
法人・団体	103団体	1法人・団体		10,000円以上/年会費					

平成27年度事業報告の附属明細書

平成27年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書については作成しないこととしている。